

日本共産党岡山市政ニュース(号外) 被災地支援レポート

助かった生命救う政治を!!

— 看護師として医療支援に参加して 崎本とし子

看護師として 役に立ちたい

東日本大震災は、地震と巨大津波の上に、原発事故が継続しており、被災者の苦難は深刻です。

死者14,981人、行方不明者9,853人、避難者は115,098人(5月11日現在)と報道されており、もともと医療崩壊が

私は、市議の任期最後の時(4/26~4/30)を看護師としての支援に入りました。阪神・淡路大震災の時の支援体験から、避難所の環境や「関連死」が気になりました。



七ヶ浜町は津波で壊滅的状况に。田んぼには海水がたまり、カラスやすずめのかわりにかもめがとんでいるとの話でした。

15時に宮城県塩釜市へ到着しました。

地震と巨大津波 破壊力の おそろしさ!

M9の地震に耐えた建物が巨大津波によってごっそりと流され、壊され、基礎だけが残る住宅跡地が広がっています。

4/7のM6の余震は、縦揺れで、ようやくともちこたえていた建物を破壊し、ケガ人を多数出しました。

全国民医連の災害救援センターとなっている坂総合病院(塩釜市)は6年前の建築ですが、4/7の余震で約200ヶ所のひび割れが入り、雨もりするとのことでした。

滞在中もM3~4の余震が何度も起こりました。日本の中でも耐震基準が厳しいのが宮城県です。小学校の音楽室のそうじ用具入れロッカーでさえも壁に固定されており、一般家庭でも家具固定は常識とのことでした。(タクシー運転手の話)

約30年前の宮城県沖地震の教訓から行政は震災対策にとりくんできたのです。しかし、千年に一度の巨大津波は、3万人近い人の命やくらしをのみこんでしまったのです。

避難所の 救護室へ常駐

4/27から仙台市宮城野

日本共産党が被災地に届けた救援募金

総額で (5月2日現在) 6億円を超える

岩手・宮城・福島3県 40市31町7村の 計81の被災自治体に 直接届けています。

義援金を届けた自治体

- 岩手県、宮城県、福島県
○(青森県)八戸市、階上町、おいらせ町
○(岩手県)盛岡市、久慈市、宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、遠野市、北上市、花巻市、奥州市、一関市、平泉町、藤沢町、岩泉町、山田町、洋野町、住田町、大槌町、野田村、田野畑村、普代村
○(宮城県)仙台市、名取市、気仙沼市、石巻市、東松島市、塩釜市、多賀城市、岩沼市、大崎市、登米市、栗原市、白石市、松島町、七ヶ浜町、南三陸町、女川町、亶理町、山元町、利府町、美里町、涌谷町、村田町
○(福島県)相馬市、南相馬市、いわき市、田村市、須賀川市、郡山市、白河市、浪江町、双葉町、新地町、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町、国見町、鏡石町、矢吹町、川俣町、葛尾村、河内村、飯館村
○(茨城県)北茨城市、日立市、ひたちなか市、鹿嶋市、神栖市、大洗町
○(千葉県)旭市、浦安市、香取市、我孫子市
○(長野県)栄村

区の岡田小学校にある避難所(約150人が避難)の救護室に看護師として常駐しました。

救護室にやってくる人たちがポツリポツリと語る被災の現状をとにかく聴き、寄りそうことが私の仕事でした。

水道、電気は復旧していません。体育館には仕切りがなく、2才から90才代の高齢者、障害のある人も一緒です。プライベートルームスペースはありません。

4/24にやっとタタミとフトンが届いたとのこと。「眠れるようになった」という声がかかれました。震災後6週間もかかっています。洗面所になっっている「手洗場」は、雨よけがなく、ずぶぬれで菌まがきをする状況です。仮設トイレは4回更新されて、やっと「水

洗」になった所でした。高齢者には使いにくそうでした。

食事は自衛隊の炊き出しが朝夕の2回、風呂は民間団体が仮設で常設しており、時間をきめて入れる様でしたが、どちらも4月末で終了とのことでした。

心のケアチーム(兵庫県)、保健師の巡回(山形県)、医師会の往診(火・金)と連携をとり、救護室の看護師は2人常駐していました。(全日本民医連から派遣)

救護室以外は、4月末か5月中旬で終了するとのことでしたが、代替対応が絶対に必要だと思われました。

劣悪な避難所環境の改善は急務!!

7町内会が主体となり対策本部をつくって、避難所を運営していました。

津波の残したヘドロの混じった粉じんは、風でまいて上がり、吸いこんで感染をおこし、発熱する人が出ます。気をつかう生活で便秘となり、全身ジンマシンが出る人、39度6分の熱を出しても解熱しただけで自宅の後かたづけにいつまで動き続けるくらいなのです。

食事の状況 4月28日(木)
朝 飯、みそ汁、ウインナー3本
昼 カップめん、バナナ1本
夕 五目飯のおにぎり1ヶ、豚汁
(約1,300~1,500Kcal/日)くらい
※蛋白質不足の指摘も...





▲救護室は避難所の灯台です。私は神戸協同病院の上田耕三院長の言葉が忘れられません。「医者や看護師にできることは限られているが、そこにいるということ自体が安心感につながる…」と。

日本共産党が実施した避難所の実態調査(32カ所)では、劣悪な避難所の環境が明確になりました。

### 助かった生命を 守りたい!

津波被害を生き延びた人の生命を守ることが必要です。

阪神・淡路大震災では、避難所での健康悪化などで、震災後しばらくしてから亡くなる人が相次ぎ、「震災関連死」と認定された人が900人を超えました。その教訓を生かすことが重要で

### 政治の力で 栄養改善を、 「住宅」の確保を

現在、災害救助法では、避難所の費用はほぼ全額国が負担します。

避難所だけでなく、自宅で炊事困難な人への食品の提供も対象です。

ボランティアが県の要請に応える形で炊き出しをした時も費用は国がもちます。福祉避難所の設置費用や仮設住宅、民間借り上げの賃貸住宅も仮設認定されます。住宅確保が急務です。食費の基準は、1人1日1,010円です。



▲対策本部でがんばっていた被災者の人と共に。彼は毎日朝4時から黙々と廊下やトイレの清掃をしていました。

阪神・淡路大震災のときは850円だった基準が少し改善されています。

避難所になつていいる学校が自校方式で給食調理場があれば、それを活用して炊き出しが出来ます。

被災地では、学校給食づくりに加えて、臨時雇用をして被災者の炊き出しをして栄養改善にとりくんでいいる所もあります。

私のいた岡田小学校も自校方式なのでぜひその方向をめざしてほしいと思います。(学校給食は5/9から再開)

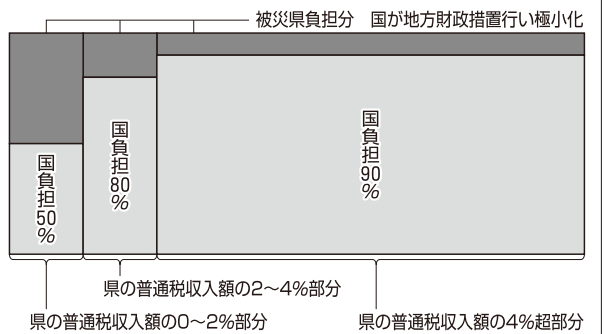
岡山市でも学校給食は自校方式にこだわっていきたいですね。

災害時には必ず役にたつのです。

被災者は失意をのりこえていかねばなりません。政治の力でせめて「マイナスからでなくゼロからの出発の支援を…」と思います。

### 災害救助法に基づく救助の費用

被災県負担分 国が地方財政措置を行い極小化



## なんだっけ



### Q 災害救助法

Q 大震災の被災者は着のみ着のまま逃げたでしょう。避難所の費用はどうなるの?

A ほぼ全額を国が負担するよ。災害救助法では、被災者の救助にかかった費用の大きさに応じて5割から9割を国が負担し、残りを被災県が負担すると決めている。東日本大震災の場合、被害が甚大なので、政府は被災県の負担分は「極小」にするといってるんだ。

Q 災害救助法が適用されるのは避難所の費用だけ?

A いや、広く「被災者の保護と社会の秩序の保全」のために必要な救助が対象とされている。避難所で暮らす人はもちろん、自宅で炊事が困難な人への食品の提供も対象だ。ボランティアが県の要請に応える形で炊き出しをした場合も、費用は国がもつ。高齢者・障害者・妊婦・新生児のために福祉避難所

Q 費用などの基準はあるの?

A 国が一般基準を決めている。例えば食費は1人1日1010円だ。ただし、一般基準で対応しきれない場合は、それをこえる特別基準を県が設定できるんだ。

Q 仮設住宅の設置も対象だ。県や市町村が借り上げた民間の賃貸住宅も仮設住宅として扱われる。被災者が賃貸住宅を借りた場合も、自治体名義の契約に置き換えれば仮設住宅として扱われ、国が費用を出す。服や寝具や光熱水費などの生活必需品、学用品の支給、住宅の応急手当で、埋葬なども対象だ。

Q そうなんだ。法律を活用しないよね。

A 仮設住宅の設置も対象だ。県や市町村が借り上げた民間の賃貸住宅も仮設住宅として扱われる。被災者が賃貸住宅を借りた場合も、自治体名義の契約に置き換えれば仮設住宅として扱われ、国が費用を出す。服や寝具や光熱水費などの生活必需品、学用品の支給、住宅の応急手当で、埋葬なども対象だ。

Q 費用などの基準はあるの?

A 国が一般基準を決めている。例えば食費は1人1日1010円だ。ただし、一般基準で対応しきれない場合は、それをこえる特別基準を県が設定できるんだ。

Q 避難所の費用などを国が負担

全国はひとつ がんばる 日本共産党議員

被災地には、全国の自治体、NPO団体、医療団体が支援に入っています。全ての人と団体が手をつないで支援を続けなければなりません。長期支援の覚悟が必要です。

4/30に帰岡して、5/2(月)に、仙台市議団に連絡し、岡田小学校の状況を報告しました。共産党議員

団は、自らも被災しながらも精一杯がんばっています。これからも、岡山から後方支援を続けたいと思います。これからが大切です。「国民の目の前の苦難を軽減して生命の安全とくらしを守る」ために生まれたのが日本共産党です。

無責任な空論ではなく、被災者・住民が自ら立ち上がることに必要な復興のために全国から声をあげましょう。



▶災害救援センターは寄せがきでいっぱい!